

平成24年度学校評価 年間計画

学校名 練馬区立豊玉小学校

1 自己評価

予定時期	主な内容
5月14日～18日 7月20日	・保護者アンケート実施（学校公開、道徳地区公開講座） ・4月から6月までの学校運営に関する自己評価と改善点の検討
10月 3日～13日	・保護者アンケート実施（運動会）
11月30日 ～1月7日	・自己評価の学校評価Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ実施 （Ⅰ教育目標：Ⅱ経営方針：Ⅲ学校運営全体）
12月 4日～ 8日	・保護者アンケート実施（学校公開、学習発表会）
12月21日 2月18日～22日	・7月から12月までの学校運営に関する自己評価と改善点の検討 ・保護者アンケート実施（学校公開、作品展、学校運営全般） ・学校運営全般のアンケート集計から改善点や課題の検討 ・学校評価Ⅰ・Ⅱ・Ⅲのまとめ
3月 1日～ 5日 3月末	・児童アンケート実施 ・新年度に向けての学校経営方針の提示

- ・開催回数に応じて、適宜区分して記入してください。
- ・主な内容には、自己評価（中間）、保護者アンケート（学校公開、運動会）実施、児童生徒評価等と記載してください。

2. 学校関係者評価

回	開催日時（予定）	主な内容
1	4月21日（土） 10時～11時	・教育課程説明会 ・委員の委嘱
2	5月12日（土） 10時～11時	・第1回評価委員会 ①今年度の取り組みについて説明 ②児童の実態 ③特色ある教育活動 ④意見交換
3	3月上旬 11時～13時	・第2回評価委員会 ①今年度の教育活動に対する自己評価および保護者と地域の評価について説明 ②特色ある教育活動の評価について説明 ③来年度の取り組み ④意見交換

- ・開催回数に応じて、適宜区分して記入してください。
- ・実施日が未定の場合は、概ねの時期を（○月上旬など）記入してください。

平成24年度 練馬区立豊玉小学校 学校評価報告書

練馬区立豊玉小学校

校長 並木 満行 印

1 自己評価結果

(1) 概要

今年度の学校運営の大きな成果は2点ある。「校内研究の充実による指導力の向上」と「特別支援体制の充実」である。

校内研究では、道徳の時間の指導力向上をめざすと共に、普段の生活場面で道徳実践力が発揮できるような見とりを中心に研究を進めてきた。講師のご指導と各分科会での討議、全員が授業公開しての研究全体会(18回)によって、確実に指導力を向上させられることができた。道徳的な実践力の発揮については、児童の関係づくりの面で改善されている様子が見られた。もう一つの特別支援体制では、コーディネーターを中心に巡回相談員や通級関係の先生方等とチームを作り、支援の必要な児童に対して手厚い対応ができるようになった。

課題としては、今回の保護者アンケートを集計した結果を見ると「いじめ対応」についての点数が低くなっている。そこで、いじめ調査だけでなく、「一日一回は声かけをする」「児童一人一人との面談の実施」を行う。さらに、児童の訴えがどの教職員が受けられるような体制づくりをしていくように改善を図っていく。

(2) 根拠となる資料(教職員、保護者、地域住民の評価結果)

(4:十分達成 3:ほぼ達成 2:やや不十分 1:不十分)

①教育目標の具現化を児童の実態から考える(※教職員の評価結果からの集計)

【学校評価Ⅰ】(教育目標の具現化を児童の実態から考える)

	具体化の重点具体目標 (評価の観点)	評 定 (昨年度との比較)	成果・課題・改善策 ○成果 ●課題・改善点
考 え る 子	1. 人の話をよく聞き、 自分の考えを発表で きる子になったか	2.7 (2.6)	○自分の考えをはっきりとした声で堂々と話し、自分の考えを伝えることができるようになってきた。話の聴き方に課題は残るが、授業中も落ち着いて話が聞けるようになっている。 ●自分の考えを発表する子が増え、意見交換がたくさんできるようになったが、聞く態度がまだ定着できていない子がいる。 ●話を聞く重要性を感じている子が少ない。
	2. 基礎基本の学力が 定着している子にな ったか	2.7 (2.8)	○基礎基本がきちんと定着している子も多いが、定着が非常に困難な子が数名いる。 ○朝学習によって学力が向上することを実感した。 ●定着の低い子に関しては、個別指導等をするなど繰り返し学習指導する。個人差が大きい面については、その差を縮めていくために家庭学習の成果の見届けを家庭に願う。もちろん授業中の反復学習を重視して取り組む。
ね ば り 強 い 子	3. 体力のある子にな ったか	2.5 (2.5)	○毎朝のストレッチ運動により、姿勢についての大切さを伝える機会となり、姿勢に対する関心が高くなり、継続できる子が増えてきた。今後は習慣化するように。 ●日常的な声かけを継続することで改善して面がみられたが、すぐに崩れてしまう面もあった。体力の向上という面からも、運動の日常化をさらに推進していく。
	4. 集中力があり最後 までやりぬく子にな ったか	2.4 (2.7)	●課題によって集中が続かないときがある。原因として、発問がわかりにくく、課題が明確でなくなりどのように取り組んだらよいか迷っている様子が見られる。 ●基本的な生活習慣が身につけていない子に集中力に欠ける傾向がある。明確な課題には集中して取り組めるが、学習によっては集中力が続かないことがあるので、学習形態に変化をもたせる等の工夫をしている。

心 ゆた かな 子	5. みんなと仲よく協力する子になったか	2.8 (3.0)	○頑張った友達に対して、自然に拍手が出る雰囲気がある。クラス遊びも上手に行っている。 ○困っている友達にやさしく接し、手助けができる。 ○素直な子が多く、仲よくできているように思う。 ●一部の子ではあるが、相手の気持ちが理解できずトラブルになることがある。自分の好きなことしかかかわりがもてない子がいる。
	6. あいさつができルールを守る子になったか	2.4 (2.2)	○ルールに関しては少しずつ守れるようになってきた。 ○挨拶は改善されつつあるが、まだ相手によって挨拶したりしなかったりする傾向が見られる。 ●挨拶に関しては自ら進んでする子は少ない。 ●まだルールを守れない子もいるので、学校全体で徹底させていく必要がある。 ●規範意識が欠如している面が見られる。

②経営方針の具現化から考える（教職員評価結果と保護者評価結果の両面から集計）

【学校評価Ⅱ】（経営方針をもとにして考える）●教師の自己評価 ☆保護者、地域の評価

		具体目標（評価の観点） ●学校の評価 ☆保護者の評価	評 定 （昨年度との比較）	成果・課題・改善策 ○成果 ●課題・改善策
地 域 を 大 開 切 か に れ し た 外 学 に 校	1	●学校公開等を通して学校の様子を伝えたか	2.8 (3.3)	○学校公開は定着し、たくさん参観がある。 ○学校に対して地域の方々のご協力を得られる意識の高さに感謝している。 ●第2土曜授業は学校公開である事を周知。
		☆学校公開等を通して学校の様子が伝えられている	3.5 (3.5)	
	2	●地域の人材活用、地域の教材化、地域行事への参加等はできたか	2.9 (3.0)	○地域の活動や、地域行事が盛んに行われていて、児童も進んで参加していると感じる。 ●積極的に地域行事に参加して、地域とのかかわりを深めていきたい。
		☆地域の教育力を生かした教育活動が行われている	3.2 (3.6)	
	3	●保護者会等を通して保護者の意識を受け止めたか ●家庭や関係機関との連携はとれていたか	2.9 (3.2)	○支援の必要な児童に対して細やかな配慮がされ、組織中心に連携できている。 ●児童対応している内容をできるだけ、保護者会で伝えていく。
		☆保護者会等を通して保護者の意見を受け止め適切に対応している	3.2 (3.6)	
し教 内職 に員 開が か互 れい たを 学信 校頼	4	●教育目標を共有化し、組織を生かした活動ができたか	2.8 (3.1)	○研究発表に向けて、全職員が協力して臨み研究成果をあげることができた。 ●よりよい授業をめざす。
	5	●合同授業、TT指導、専科教諭との協力はできたか	2.9 (3.4)	○学年で教材を共有することができた。 ○TTと連携をとりながら指導できた。
	6	●他の職種との相互尊重と連携は図られたか	2.7 (3.2)	●給食室や主事室、事務室からの協力を得ながら環境改善等に取り組めた。
学 ぶ 実素 感晴 でら きし るさ 学を 校	7	●道徳の時間の工夫を行い、心の教育の充実はできたか	3.2 (2.8)	○校内研究によって、教材研究が意欲的になされ道徳の時間の指導内容が充実した。 ●校内研修をさらに充実させ、教科指導での道徳的な価値に触れさせる機会を増やす。
		☆道徳の時間等を通して心の教育が十分に行われている	3.2 (3.5)	
	8	●教師としての力量の向上は図れた	2.9 (2.9)	●もっと積極的に先輩の先生方の授業を参観して指導法や子供との接し方を学びたい。
	9	●教科の基礎基本の確実な定着を図ることができたか	2.6 (3.0)	・短作文、日直のスピーチ、定期的な漢字テスト等、日々の指導を徹底することで成果をあげることができた。 ●基礎の定着には繰り返しの指導が必要。
☆基礎的基本的な学力の向上が図られている		3.2 (3.5)		

	10	●問題解決学習、体験学習等を意識して学習を行っている	2.7 (3.1)	○問題解決学習をする場面が多く設定した。 ●指導方法をもっと学びたい。
自由と規律のある学校	11	●いじめ、問題行動等を予防できたか	2.8 (2.7)	○じっくり話を聞いて解決に結びつけた。 ●日常の様子を細やかに見取ること、児童との面談等を通して児童理解に努める。 ●いじめは絶対に許さないという気持ち。
		☆いじめや問題行動に対して適切な指導が行われている	3.2 (3.8)	
	12	●児童のよさを認め励ます指導の実践はできたか	2.8 (3.3)	○様々な場で、一人一人を認め、自信と意欲につながるようになってきた。 ●日常の様子を細やかに見取ること、児童との面談等を通して児童理解に努める。
		☆子供のよさを認め励ます指導が十分に行われている	3.4 (3.6)	
13	●教師の指示の通る学級づくりはできたか	2.9 (2.8)	●けじめある生活が徹底できなかった。話す、聞くのルールを徹底させたい。	
14	●自浄作用のある学級集団づくりはできたか	2.6 (2.6)	●友達を思いやる心は育ってきたが、児童自らの自浄作用があるとは言えない。	
特色ある教育活動を推進する学校	15	●縦割り生活班を中心とした異学年の交流は実践できたか	3.0 (3.4)	○縦割班活動定着してしっかりできている。 ●高学年がリーダーシップをとれるように育てていく必要がある。 ●他学年とのかかわりで重要な活動である。
		☆縦割り生活班等を通して、異学年の交流が行われている	3.6 (3.8)	
	16	●日本の伝統文化に親しむ活動ができたか	2.9 (3.1)	○講師の先生方のおかげでとても充実した活動となっている。
	17	●言葉を大切にされた指導はできたか	2.8 (2.8)	○児童への言葉かけに気をつけ、児童間での言葉遣いへの意識付けとなるようにした。 ●悪い言葉への指導が今一步。 ○毎朝スピーチを行っている。
		☆挨拶や言葉遣い等、言葉を大切にされた教育が行われている	3.1 (3.3)	
	18	●15分間の朝学習は確実にできたか	2.6 (3.5)	●指導計画にそった指導が今一步で、生活指導に時間としていたので改善する。
	19	●健康な身体づくりはできたか	2.7 (2.9)	○保健指導で、自己の健康についての意識が高まってきている。 ●保護者への健康な身体づくりの意識を重要性を啓発していくことが必要。
		☆健康な身体づくりに取り組んでいる	3.4 (3.5)	
20	●地域とのかかわりはできたか	2.8 (2.9)	○積極的に地域行事に参加したり、地域人材を活用してきた。	
21	●授業改善をめざした研究授業はできたか	2.9 (3.3)	○校内研究では分科会でよりよい授業となるように討議できたのがよかった。	
22	☆子供の安全確保のための対策がとられている	3.2 (3.7)	●安心して通わせられる学校とするために、安全教育を推進する。	

③ 児童の評価 (Aとても思う Bだいたい思う Cあまり思わない D思わない)

	質問内容	平均値
1	学校に来ることが楽しみですか	3.5
2	運動や体を動かすことが好きですか	3.7
3	本を読むことが好きですか	3.5
4	先生は分かりやすく勉強を教えてくださいますか	3.7
5	先生は悩みや困っていることの相談に応えてくれますか	3.6
6	先生は自分のよいところやがんばりをほめてくれますか	3.7
7	だれにでもやさしく接していますか	3.3
8	進んで挨拶や正しい言葉遣いができますか	3.3
9	たてわり班での遊びや活動は協力して楽しくできますか	3.6
10	安全に気をつけて行動していますか	3.6

【傾向】児童にとって今日が楽しく、明日が楽しみにできる学校となっていると考える。

【課題・改善策】○他者への思いやりの心の育成に向けて、道徳教育をさらに推進する。○生活指導の課題である挨拶は、来年度も重点課題として取り組む。○児童の話を丁寧に聞ける教師集団を構築する。そのために、研修会を実施する。

④教育活動全体を通して考える(教職員の評価結果から集計)

【学校評価Ⅲ】学校評価Ⅰ、Ⅱ以外の教育活動全体から考える

実践における成果・問題点	次年度に向けての改善策
○いじめ対応を今年度と同じように実施していく。	・いじめ調査、児童の状況観察等を通して児童の心の声に耳を傾ける。同時に声を出して訴える、声に出して伝える等の手段を根気よく指導していく。 ・道徳の時間を充実させる。
○校内研究(道徳)をとおして道徳だけでなく多くの授業内容が深まりとても勉強になった。	・研究内容のさらなる充実に向け全員が同じ方向で研究が進められるように取り組む。
○スポーツ教育推進校をうけて体育用具が充実すると共に体力が向上した。	・運動の日常化をさらに推進する。体育の時間の運動量を確保する。毎朝のストレッチ運動を継続する。
○特色ある教育活動である、日本文化の指導は本校にとって伝統となっている活動なので継続していく。	・日本文化については、今後も5年担任と副校長が連携して計画的に進める。和楽器の指導に関しては、下学年から継続的に指導する等について、管理職、専科、教務で検討する。

2 学校関係者評価

(1) 総括

①成果

3月9日に、地域、学校評議員、保護者の代表をお招きしての「第2回 学校関係者評価・地域教育懇談会」を開催し、平成24年度の学校評価と次年度の教育計画についての報告と意見交換を行った。

ア. 今年度の取り組みについて(特色ある教育活動)

- 日本文化の学習や昔遊び等を通して地域の人材が講師となり、交流が深まっているのでとてもよい。特に児童がそれらの活動に対してとてもまじめに取り組んでいるので教えがいがあがる。
- 指導者の質が高いので、発表内容も充実している。

イ. 来年度の取り組みについて

- 社会全体の様子を見て、子供の態度以上に保護者の道徳的態度が気になるので、挨拶と同様に学校から道徳的な部分についての啓発をお願いしたい。挨拶については地域でも実践できるように取り組んでいく。

ウ. その他

- 学校でのいじめ解消に向けては、学校に頼る面が大きい。教職員一丸となって解消に向けて取り組んでほしい。家庭での虐待の撲滅に向けては、地域も協力していくが見えない部分が多いので関係各所と連携をとりながら取り組んでほしい。
 - ・いじめに至らない状況であるならば子供たちに解決させるような取り組みをお願いしたい。
 - ・子供のSOSを早めに察知できる教師の姿勢をもってほしい。

②課題

- ア. 本校の特色ある活動を継続するための工夫が必要である。
- イ. いじめ問題が発生した時の学校体制づくりと地域関係者・諸機関との協力体制づくりが大切である。
- ウ. 児童の学力向上と体力の向上をめざした具体的な方策を示す。

③改善策

- ア. 特色ある教育活動の基本となっているのが、朝学習のスピーチと調べ学習である。当該学年だけの取り組みと考えず、6年間の積み重ねの成果とできるように、教員の意識を高めていく。
- イ. 社会問題でもあるいじめ対応については細心の注意と対応が必要である。そこで、日々の児童への声かけからスタートして、児童との個人面談、いじめ調査の結果の精査等の取り組みをさらに充実させる。また、いじめが確認できた時には管理職が中心となり、学年、学校全体で対応できる体制を構築していく。
- ウ. 学力向上については、理科の校内研究で学んだ、課題解決学習を充実させると共に、各教科の単元終了後の小テストやワークシートをとおして、児童の理解度を測るようにする。体力向上に向けては、校内研究で培った体育指導のノウハウを継承させていく。さらにスポーツ教育推進校として運動の日常化に向けて体育部が取り組んできた活動をさらに充実させる。

(2) 根拠となる資料～前掲の資料を提示して話し合いを深めた

3 評価結果の公表等 ※別紙として添付

評価結果の公表については、次の2点を中心に実施している。来年度も同様に取り組む予定である。

- (1) 前年度の学校評価をもとに作成した学校経営方針を、4月に教育課程説明会を開催して保護者、地域の皆様方に公表する。
- (2) 学校ホームページへの掲載と、新年度の保護者会に資料として公表する。
- (3) 学校公開や学校行事でのアンケートについては、学校だよりや学校評価結果として公表している。

4 次年度の学校改善へ向けた校長の見解

(1) 教育目標の具現化に向けて ※来年度の重点

◎考える子・知 (話をよく聞き自分の考えを公表できる子) (基礎基本の学力が定着している子)

※これまでの研究成果を継承していく。(課題解決学習を重視した理科学習・児童が楽しめる体育)

1. 研究成果の継承。
 - 課題提示を工夫し、子供が自分の考えをもてるようにする。
 - 子供の考えを生かしながら学習を進め、指導者が適切な評価と支援(指導)を行う。
 - 思考力、表現力を高め、子供が自分で学習が進められるようにする。
 - ・指導計画の工夫 ・ノート、学習カードを活用した指導法の工夫 ・評価の工夫
 - 児童の運動意欲が高まる場の工夫と、課題提示の工夫。
 - 児童の運動量の確保に向けた、授業内容と指導方法の工夫。
 - 体力向上をめざした指導内容の工夫。
2. 学習指導要領の内容を学年でよく話し合い、落ちがないように取り組む。
3. 評価規準、評価方法を明確にした授業実践。
 - 単元や題材の終了後には児童一人一人の評価をまとめ、個別指導に役立てる。
4. 「聞く力」「話す力」が身につく授業等の取り組みの工夫。(朝学習での取り組みの継続)
5. 朝学習の時間を継続してより一層の充実を図る。

◎ねばり強い子・体 (体力のある子) (集中力があり、最後までやりぬく子)

1. 朝会、集会の集合と話を聞く姿勢がとともよいので、継続していけるようにする。
2. 体力テストは継続して実施する。

※心ゆたかな子・徳 (みんなと仲よく協力する子) (あいさつができ、ルールを守る子)

1. ※心の教育の充実をめざすために、校内研究で道徳の時間の充実を図る。
 - 資料提示の工夫、発問の工夫、板書の工夫ができた授業構築をめざす。
 - 児童が自分の考えを発表しやすい場を工夫する。
 - 児童相互の意見交換ができるような授業をめざす。
2. グループ学習を多く取り入れた授業の工夫。
3. クラス遊び等の工夫ができていますので、来年度も継続して取り組む。
4. ※挨拶できるように子の育成をめざす。(地域での挨拶を充実させる)
5. 廊下、階段の歩行の安全を徹底する。
6. 週番が休み時間によく指導できているので、来年度もけがの防止に向けて継続する。

(2) 経営方針の具現化に向けて

◎地域を大切にし、外に開かれた学校

1. 今年度の取り組みを継続できるように、地域、保護者と連携しながら取り組む。

◎教職員が互いを信頼し、内に開かれた学校

1. 巡回相談員、スクールカウンセラー、心のふれあい相談員とのさらなる連携を図る。

◎学ぶ素晴らしさを実感できる、研究的な学校

1. 児童同士がかかわり合い、学びあえる学習環境・生活環境づくりに取り組む。
2. 指導力向上をめざした研究協議会を行う。(今年度のように)
3. 授業研究がととも充実していたので、来年度も同様な取り組みを行う。
4. 基礎基本の定着に向けて、児童の実態や個に応じた教材を工夫する。

◎自由と規律のある学校

1. 児童一人一人の声に耳を傾けられる時間を確保する。(道徳の時間、学級指導の時間の充実)
2. 巡回相談員、スクールカウンセラー、心のふれあい相談員とのさらなる連携を図る。

◎特色ある教育活動を推進する学校

1. 地域との交流、異学年交流を図る活動が、本校の教育の中核となるように継続させる。
(縦割り生活班活動等の異学年交流) (日本の伝統文化に親しむ活動、昔遊び 等)
2. 「心ゆたかな子」の育成に向けた授業改善。
3. 朝学習の時間は習慣化してきているので、さらに内容を充実させる。

◎安全面での改善点

1. いじめ解決に向けた取り組みを管理職を中心とした全校体制で取り組む。
2. 地震災害等の緊急対応に向けて、管理対応体制を見直す。